

## 「喜界高等学校の八月踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

鹿児島県立喜界高等学校

### 2 学年・人数

高校女子生徒 81名

### 3 日時・場所

#### (1) 練習日時・場所

1学期後半からの体育の授業（高等学校校庭）

#### (2) 発表の日時・場所

平成30年9月9日（日）喜界高等学校体育祭

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

#### (1) 名称：八月踊り（はちがつおどり）

#### (2) 由来

「八月踊り」は町内全集落に伝承されている。「豊年祭」や「島あそび」で多く踊られており、集落により唄や踊り方は様々である。また、踊られる行事も集落により異なっている。

#### (3) 構成等

八月踊りの特徴として、太鼓を持つのは原則として男性であり、皆が輪になり、同じ動きを繰り返しながら踊る。一昔前までは唄者が実際に唄いながら踊っていたが、現在ではCDを音源として用いて踊っている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

喜界島郷土研究会が中心となって、各集落の八月踊りDVDを製作した。

八月踊りは地域により唄い方や踊り方が違うため、集落持ち回りで毎年行われている。

これに合わせて、担当集落の方々に指導を依頼し、練習を行っている。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

島での残された学生時代を有意義に、そして故郷を誇れる人間になってもらうことを目的として行われている種目である。体育祭を見学に来た中学生も先輩方の踊りを参考に中学校体育祭で披露している。

八月踊りを始めて数十年と歴史は長く、八月踊りを楽しみにしている高齢者や地域の方々も多い。

## 7 取組の様子



【継承のために真剣そのもの！】



【楽しそうに踊る女子生徒】

## 8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想や意見

### ○ 生徒の感想

- ・ 島の伝統である八月踊りは難しいが、集落の島遊び等で輪に入って踊れるのが良い。(高1)
- ・ 多くの方に見られているので少し恥ずかしい気持ちもあるが、「島の宝でもあるので大切にすべき。」という気持ちで頑張っている。(高3)
- ・ 私も高校生になったら高齢者や地域の方々に踊りを教えてもらい中学生に良い手本となるよう努力したい。(中3)
- ・ 踊りの指導をしていただいた地域の方々とあいさつするようになった。出会いに感謝です。(高2)

### ○ 保存会（指導者）

- ・ 若い世代が八月踊りを覚えて踊ってくれるのが嬉しい。最近では、後継者も少なくなり、今後、八月踊りがなくなっていくと思うと寂しい気持ちになる。このように若い世代が積極的に参加していつまでも受け継いでいけるよう、私たちも学校に協力しながら伝えていきたい。

### ○ 保護者

- ・ 娘が楽しそうに踊っている姿を見て、「私も負けずに島遊びで踊りたい。」と実感した。私も娘と一緒に踊れるように練習したいと思う。

### ○ 教職員

- ・ 県内各地には多くの文化や伝統芸能が残っている。喜界町にも「ウヤンコー」等素晴らしい行事や文化が残っている。郷土愛を育む環境も整っているので、学習に積極的に取り入れていきたい。「私も三味線始めました。来年は文化祭でシマ唄デビューしようと思っています。」